

第3回眼科領域ゴールボール大会 in 福岡

2026年1月17日（土）、大学入学共通テスト1日目のこの日、第3回眼科領域ゴールボール大会が福岡で開催されました。日程を聞いた瞬間、よりによってこの日？と、思ったのはおそらく私だけではありません。何故なら、全国の大学教員には、試験監督という業務が発生する可能性があるからです。もちろん私たちの眼科学講座からも試験監督を出さねばなりません。そう、**人が足りない....**。申し訳ないのですが、試験監督はゴールボールをしない先生たちにお願いしました。さあ、誰が参加できるかな？と数えたところで、軽い絶望感。教授に正直に状況を伝えました。

海津 「谷戸先生、優勝を狙うとか、そういう次元ではありません。

そもそも人が足りません。

現状だと、市岡先生と問田君は交代なしで、残りは先生と私が半分ずつ試合に出る計算になります（意訳：どちらかのサイドがザルになるので点を取られまくって負けます）。あと誰か怪我とかインフルにならったら終わりです」

教授 「え～、なんとか元気な男子3人用意してよ」

海津 「...（いや、おらんし）」

最終的に谷戸教授が出した解決策：「よし、ケイ君呼ぼう」

お願いしたら鳥取からスサノオアイズのメンバーであるケイ君が来てくれることになり、その後、藤野君も参加できることになったので、なんとかメンバー交換もできる状態になりました。それでもギリギリ感は残りますが、最初にメンバー揃うか揃わないかと迷ったもんだしていた事を思えば、かなりマシ。

ということで、市岡、小村、問田、ケイ君（前日終業後に出雲まで移動してきてくれました）、海津の5名は1月17日の朝6時50分発のスーパーおき1号に乗り込んだのです。ガタゴト揺られて約3時間半、新山口で某アイドルグループのライブに向かうと思われる大勢のおねーさん方でいっぱいの新幹線に乗り換え、当然自由席に座れるはずもなくデッキに立ったまま博多に到着。地下鉄に乗り換えて九大学研都市で下車、お昼ご飯を買ってタクシーで会場である福岡視覚障害センターに到着したのは開会式の15分前でした。玄関前で前日には福岡入りしていた藤野くんと合流し、その後、飛行機移動の教授（福岡空港からのタクシ一代は一体いくらだったのか...)とも合流できました。これで試合に出ることができます。

今大会の運営を担当して下さった辻先生の開会挨拶で大会が始まり、その後、日本視覚障害柔道連盟会長の初瀬さんから視覚障害者になってから現在までの道のりについてのお話を聞きました。初瀬さんが視覚障害者となった原因は緑内障で、最後に手術を受けられた時はご自分で電車に乗って病院に向かい、同意書などの書類に署名をされたそうです。そして、手術が終わった時にはもうそれができなくなっていたとおっしゃっていました。半ば自暴自棄になった事なども淡々とお話をされていましたが、今に至るまでにたくさん苦しみ、そして乗り越えてこられたのでしょう。この日お会いした初瀬さんは、愉快で楽しい、お酒が大好きなスポーツマンでした。



初瀬さんの名刺

左が表で、右が裏面。裏面は初瀬さんがどんな風に見えているかを表現したもの。緑内障によって中心視野が失われ、周辺視野の一部が残っている状態。



試合前の講習会

主にディフェンスの仕方を教えて頂きました。初参加の九大の先生方はこの日初めてゴールボールをしたそうです。



試合前のスサノオアイズメンバー

よれよれで背番号のプリントが色あせた市岡先生のTシャツと、そもそもスサノオアイズTシャツを持っていない問田君と藤野君を見て、そろそろお揃いで新しいチームTシャツ作った方がいいのかもしれないと思いました。

さて、試合。今回は参加チームが多くだったのでAとBのリーグに分け、総当たりで各リーグ上位2チームが決勝トーナメントに進出するという方式でした。守りの固い愛媛大学のホワイトストーンズに負けを喫したスサノオアイズはリーグ2位でなんとか決勝リーグへ進出。そこで、打倒スサノオアイズに燃える（なんで？）辻先生率いるチーム辻に1点差で敗退し、決勝には進めませんでした。最終的には千寿製薬のSENJUドロップスと共に3位となりました。今大会は、優勝した愛媛大学ホワイトストーンズを筆頭に、ディフェンスが固いチームが勝ち上がったという印象でした。また、全体的に各チームのレベルが上がっており、昨年まで見られた“ほのぼの～”とした雰囲気の試合はほぼ消え失せました。この大会どこへ向かっているのか...。



センター：問田君

レフト：ケイ君

ライト：藤野君

左利きの藤野君をライトに、右利きのケイ君をレフトにと、もったいない配置をするスサノオアイズ

なお、私（海津）は何故か椅子が無い場合は正座で応援するスタイルです。

なお、今回3位になったので「誰が賞状持って帰るかジャンケン」は無し...と思ったら、3位の賞状も用意されていました。でも、市岡先生がもう自分の荷物に入っていたので「じゃあ、そのままで！」と言ってお任せしました。ジャンケンするまで賞状を荷物に入れてはいけません。

また、来年は優勝した愛媛大学の担当で開催される予定だそうです。松山は、私が佐野先生に「慰安旅行みたいなもんですから！」と半ば騙されるようにして初めて大会に参加した思い出の地です。顔にボールが当たって唇から出血したことは一生忘れません。春に入局してくる新人さん達をゴールボールに引きずり込み、みんなで道後温泉に慰安旅行、ではなく大会参加できたらいいなと思います。

海津

		リーグA	決勝トーナメント							
		新のまがたま (東京医科大)	NF選成チーム カズノ・マイ (東京農業大)	ホワイトストーンズ (愛媛大)	スザノオアイズ (島根大)	最終成績				
新のまがたま (東京医科大)		1 - 1	2 - 1 2 - 0	1 - 2 0 - 1	0 - 3 0 - 1	3勝1敗(3位) (順位: 3)				
NF選成チーム カズノ・マイ (東京農業大)		1 - 1	3 - 0 3 - 0	0 - 1 0 - 1	0 - 3 0 - 1	3勝2敗(2位) (順位: 2)				
ホワイトストーンズ (愛媛大)		1 - 2 1 - 2	0 - 3 0 - 3	2 - 6 2 - 6	0 - 6 0 - 6	3勝4敗(0位) (順位: 1)				
スザノオアイズ (島根大)		4 - 2 - 1 4 - 2 - 1	1 - 0 1 - 0	6 - 2 6 - 0	2 - 1 1 - 2	4勝3敗2分 (順位: 1)				
		3 - 0 3 - 0	1 - 0 1 - 0	6 - 0 6 - 0	1 - 2 1 - 2	3勝1敗2分 (順位: 2)				

試合結果

スザノオアイズはリーグAでした。正直、決勝トーナメントはどこが勝ってもおかしくないなと思いました。



今回は3位という結果でしたが、みんな頑張りました。ちょっと悔しいけど、怪我をせずに終わ事ができてよかったです。



辻先生

谷戸先生
意外とこの体制を取り続けるのはキツイです。この直後、谷戸先生の腹筋は限界を迎きました。